優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業（オープンイノベーションハブ拠点）

公開用

課題名：「世界の医療を変える」医療機器のエビデンス創出とグローバル展開を促進するエコシステム拠点の強化

代表機関／代表者：国立研究開発法人国立がん研究センター/伊藤　雅昭
分担機関：Nozomi MedAlliance株式会社、メドテックアクチュエーター合同会社、グロービッツ コーポレーション
研究期間：令和7年7月～令和8年3月

支援内容・体制

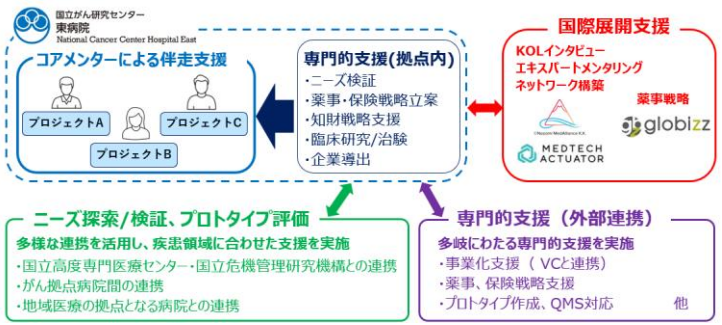
- プロジェクト伴走支援体制の更なる強化に加え、米国を中心とした海外への事業展開支援と、臨床導入を加速するためのエビデンスの創出支援を実施
- 内部の基本的な開発支援機能に加え、ナショナルセンターや世界をリードするがん拠点病院、地域診療拠点病院との連携や専門的支援が可能な外部機関との連携体制を構築

成果・実績（予定）

- 事業化相談：50件
- ヒアリング：5件
- ニーズ観察/検証プログラム：のべ150名
- 拠点内外の体制構築完了
- 成果物の発信や各種シンポジウム・出展の実施
- 伴走支援実施：5件以上
- 革新的アカデミアシーズ発掘：5件
- 組織間連携としてのNDA締結：1件
- ニーズ・シーズの情報提供：それぞれ3件
- 事業人材育成プログラムにおけるプロジェクト化又はチームアップ：3件
- 医工連携人材コミュニティに3機関、20名が新規参画、投稿数10倍
- 臨床研究に関する計画立案の支援：10件
- EDCを活用した臨床研究の開始：2件
- 米国を始めとした臨床/開発エキスパートネットワークの構築完了
- FDA pre-submission資料作成又は海外との共同研究セットアップ：2件

支援イメージ

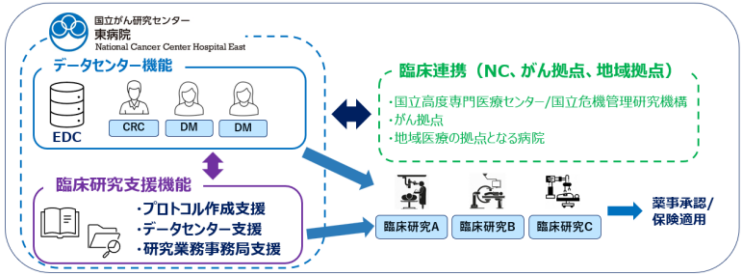
スタートアップ/アカデミアシーズの伴走支援



拠点内や外部連携を活用し、一気通貫した支援を実施

支援イメージ

臨床上の有用性を実証する場の提供



拠点内に構築したデータセンター機能や臨床研究支援機能を活用し、医療機器のエビデンス構築支援を実施